

平成24年度 第2回学校運営協議会

H24.6.28 (木) 15:00 ~ 16:30 於：多古高校会議室

次 第

- (1) 開会のことば
- (2) 教育委員会あいさつ (生涯学習課学校・家庭・地域連携室
副主幹大胡克己)
- (3) 日程説明 (事務局教頭)
- (4) 議事
 - ア 学校運営の進捗状況について
・具体的取り組み
 - イ 本校の現状と課題について
 - ウ 質疑応答
- (5) 閉会のことば

平成24年度学校運営協議会 (第2回)

協議記録

S議長

それでは、会を始めさせていただきます。議事として2点ありまして、学校運営の進捗状況についてと本校の現状と課題についてということで進めさせていただきます。

では、まず学校運営の進捗状況についてよろしくお願ひします。

事務局

学校の進捗状況について1から4について話させていただきます。(省略)

S議長

それでは、今の説明に対して質問を受けます。

Y委員

先ほどの説明で、生産流通科を中心に生徒たちが活発に活動しているとのことですが、高等学校でコミュニティ・スクールが設置されたが、今後の課題として地域をどう設定するのか、現状では、多古町中心でやっていくしかないことだと思うが、地域ということ考えたとき多古町以外のふるさと祭り等への参加ということについて(多古町以外の地域への)このような生徒の参加は、今後拡大していけないものか。逆に多古高校を知ってもらおうという点では、良いことだと思うのですが、今後の展開としてはどうなのか。

S議長

現状では、広げていくことも大事ではないか。関連して何かございますか。

I 委員

八日市場、栗源、山田、佐原などどこまでコミュニティかについては、なかなか難しいです。

S 議長

まずは、多古町を中心に活動するのが適当であるということですね。また、このことについては、今後の課題ということで委員さんも含めて考えていくことにしましょう。

O 委員

昨日（6/27）、部活動交流に多古高校に行く中学生に会いました。説明から、出前授業が行われたとのことで、連携を持ちながら、中高が交流するということは大事であることだと思いました。ところで、どんな授業が展開されているのか、またどんな部活動交流がなされていたかということを経験者一人として見てみたかったと感じました。活動予定を情報として伝えてもらえれば、今後参考意見が出し合えるのではないかと思います。子どもたちが良い表情で向かっていたことから良い交流ができたのではないかと期待と楽しみから要望として発言をさせていただきました。

S 議長

関連してどうでしょうか。

Y 委員

息子が部活動を引退した後に、顧問から送別会の連絡をいただき、親たちで祝ってあげるなど非常に良かったと感じました。

M 委員

6月5日からおにぎりの販売がありました。農協に体験学習に来る中学生が、おもしろいと言っていました。ときどきこのようなことをやってほしいと思いました。高校生がすごいなと思うと、中学生は多古高校に行きたくなるようになると思います。

H 委員

おにぎりの販売は、すごく良かった。周囲に話を聞くと多古町の多古高校に対する注目度はかなり高いものがあると感じました。学校のPRの場である夏休みの内容をお聞きしたい。

事務局

8月2日（木）に体験入学を実施します。全体的な説明や生徒の方から高校生活の様子をスライドを使って中学生に伝えるようにしています。また、農業クラブという団体についても話をすることになっています。生産流通科では、体験実習ということで野菜と草花についての実習とパソコンの実習を普通科では、いろいろな部活動を見るということで、校内見学をすることになっています。

H委員

学校見学等でいいことは、しっかりアピールしてほしいと思います。

S委員

中村小学校職員は全員おにぎりを購入しました。校長先生が多古中学校を自ら訪問されて授業参観・給食を共にするなど素晴らしいと思います。出前授業や部活動の合同練習など早い段階で交流がなされています。小学校でも多古高校の先生や高校生が来てくれ、年間を通じて花を植える作業で小学生についてもらいました。小中高の更なる連携の中で、町内5校の小学校がありますが、多古高校と小学校の交流のパターンができてくると、その子どもたちがいずれ多古中学校に進学し、自分の進路の中で多古高校を選ぶときにプラスになる気がします。

W委員

部活動の合同練習ということで今年1年生の野球部で多古中からたくさんの生徒が入部したとのことですが、合同練習が要因になっているのですか。

J委員

顧問同志のつながりができ、非常に有効であると思います。高校生が非常に丁寧にいろんな形で指導をしてくれるので子どもたちにとって有意義でした。その後顧問同士の懇親会もあったのですが、教員の方も代わっているので、顔つなぎができてくると交流もしやすい。たとえば、これから夏休みに入って練習の時にお互い人数も少なくなっているのですから、このような交流は、効果があると思います。

W委員

今後もこのような形であればお願いしたい。また、1年生がたくさん入って、いいことだと思います。

S議長

部活動の交流は、非常に大切であるということでよろしく申し上げます。

T委員

私が心配していることは、学校の規模というか先生方の顧問の数が淘汰されていないか。また、顧問の先生方も苦勞されているのではないか。特に高校でもこういう現象が起きてきている。先生方でも部活動の合同練習をもう少し推し進めた形で高校と中学がいい意味での合同練習になればよいと思う。また、ある程度部活動の数を精査しないとかなりきつく、顧問も大変になっていく状況となり、模索が必要ではないかと思われるがいかがなものなのか。

I委員

正式には打ち出してはいないが、生徒指導部長、生徒会顧問には投げかけてはいるが、8クラス規模での全部の部活があり職員は、すべて張り付けてはいるが、ここ2、3年で考えていきたい。

S議長

交流を含めてこの辺のところを考えるとということでお願いしたい。では次に本校

の現状と課題についての説明をお願いしたい。

I 委員

現状と課題の説明をする。

S 議長

現状と課題の説明がありました。質問やご意見を伺いたい。

少子化は必至であり、いかにして魅力ある学校にするにはどうするか。これからのアンケートの結果を待つことにはなるが、別のご意見があればお願いしたい。

H 委員

資料からみると多古中学校が154人から93人と大幅に減っている。他の中学校はあまり減らず逆に増えているところもあるので、地域の問題として多古町に人口の減少を止めてもらわなければならない。そのためには、生徒に多古町に残るよう指導していただければと思うが、短期的に見れば、校長先生がおっしゃっていたとおり、魅力ある学校づくりをして広域に生徒が入学してくれるようにしなければならないと思うので、これからのアンケートの結果も踏まえて少しずつ実現していかなければいけないと思う。

O 委員

校長先生の申告書にもあったように部活動への加入率80%を目指してとにかく余暇を有効に使った味のある高校生活があるが説明で複数の部活動に特化するか専門的技術力を持つ教員の採用あたりが多古高校をアピールするのに大きな武器になるのかなと思います。卓越した先生や対外的に活躍した先生、一方で顧問が堪能ではないが、子どもたちと研鑽しながら充実した高校生活を送る部活動の姿と両方ある部活動が必要ですが、教員の採用が大事だと思います。

S 議長

多古高校は、部活動を楽しんでいるイメージを持っているが、その中で強い部活動を育てるということで、専門的な優れた教員の採用ということになります。いかがでしょうか。

T 委員

最近様子を見ていると、実業系に興味を持つ中学生が多くなっている感じがします。大人もそうですが、農業や工業とか時代が少し変わってきているのかなと私は感じています。また、普通科3クラスをどう進めていくかが大事になっていく。いずれにせよ、農業に興味を持つのは大きな強みであり、実業系への流れがあるように思います。

K 委員

今年の春の入学試験では、旭農業高校が定員を満たしている。

M 委員

進学よりも就職が難しい状況です。それで農家もほとんど少ない状況です。昔は大学を出ればなんとかなりましたが、今はそういう時代ではない厳しい状況もある

ようです。

K委員

コミュニティの範囲をどう考えるかということがありましたが、多古中学校に通った生徒がやがて自ら生徒が来てくれるような魅力ある学校づくりにしていかないと多古町でなくて、広く考えて他の市町村から参加してくれるようなシステムも必要ではないかという方策を狙う必要があると思います。部活動も人事が絡むがある程度の力量のある先生方を育てていく必要もあります。

S議長

普通科の特色をどう出していくか普通科を進学校にするのは大変だがどう特色を出していくかご意見をいただきたい。

O委員

進学クラスは一つ、あとの2クラスは進学以外をめざす。

T委員

公務員試験で集中的にやっていけばまた、公務員試験に長けた先生がいればかなりの実績を出せる。普通科の特色として、他のやりかたもあるがこのような模索も必要であると思う。

H委員

警察や消防など専門学校等で勉強しないと合格できないと聞くが、高校で専門的な指導して入るようにすることは可能ですか。

事務局

前任校では、公務員指導は内部ではなく、民間でやっているとところを生かす指導を行っていました。

T委員

希望していけば、公務員対策はやり方によってはうまい方法があるのではないかと思います。

Y委員

公務員の場合、3年生になって初めて知りましたが、落ちた場合、専門学校の道しかないことになります。3年生の親たちも本人も怖がり進学か専門学校の選択になるのが現実です。ですから、早い時点から、高校に入ってすぐにでもやる必要があります。したがって、現実的な指導が必要ではないかと思います。

S議長

魅力ある学校づくりに対して部活動もあるが進路の実現もある。分析の最後の生徒指導の充実がありますが何かありますか。

T委員

コミュニケーション能力がある生徒が求められているが、多古高校が取り組んでいる別な意味での何かが必要だと思われま。

S 議長

専門的な知識が必要であり、先生方も同様だが、30人くらいの生徒をうまく操れる先生が求められるが目には見えなく大変ではあるが、ずば抜けていればよいと思われま

K 委員

いろいろな思いはあるが、生徒指導の問題ではないが、日々の生活が大事であると思

S 議長

いろいろなご審議ありがとうございました。本日はこれで会を閉じさせていただきます。